



開校150周年(明治6年創立)

# ハートフル多西

令和5年 5月30日(火)

あきる野市立多西小学校

校長 小原 太一

## 5月から6月へ

副校長 宮澤 成通

5月27日(土)には、無事に運動会を開催することができました。本番までは各学年とも授業の合間をぬって練習をしてきたので、短い時間で体育着を準備できる人が増えました。こういった力も付いていくということに驚きます。参観にあたっては3年ぶりに人数制限を設けなかったため、保護者の皆様をはじめ多くの方々に多西小学校の子供たちの頑張っている姿を見ていただくことができました。今回は新型コロナウイルスが5類移行になったことを踏まえ、変更するところと継続するところと、これまでの内容を一つ一つ検討していきました。今後の教育活動においてもご理解・ご協力をいただくこともあるかと思えます。よろしくお願ひいたします。また5月は気温の上がり下がりが大きく体調管理が難しい部分もありましたが、ご家庭のご協力のおかげで練習も本番も無事に乗り切ることができたのだと思えます。ありがとうございました。

さて、5月8日から27日の3週間で、教育実習がありました。養護教諭になることを目指して、保健室で3週間の実習を行った関ひかる先生に、教育実習を振り返り、質問をしてみました。

「多西小学校で、驚いたことは何ですか？」

「みなさんが、とにかく元気いっぱいなことと、運動会の鼓笛です。他にはない、とてもすてきな文化だと思えます。」

「多西小学校に来て、なつかしい！と思ったことは何ですか？」

「遊具です。10年前、ソフトボールをしに通っていたので、校庭はとてなつかしいです。あとは、給食です。もう二度と食べることはできないと思っていた給食を、中学卒業ぶりに食べることができました。」

「実習を振り返って、一言お願いします。」

「出身校は違いますが、母校の次によく通っていた小学校で勉強することができ、とてもうれしいです。みなさんと共に過ごして得た学びを、これからたくさん活かしていきたいと思えます。3週間ありがとうございました。」

多西小学校で経験したことや学んだことを糧に、すてきな養護教諭になることを期待しています。

また、6月はふれあい月間です。子供たちが安心して気持ちよく過ごせるようにするために、各学期で行っています。一人一人にアンケートを実施したり、担任と普段の生活について話し合ったりします。また、この間に友情や信頼、相互理解などをテーマにした授業を行っていきます。「安心」「気持ちよく」を子供たち一人一人が感じられるようにするためには、子供たちが相手のことを思いやりマナーに気を付けたりすることなどについて考える機会をもつことはもちろんですが、環境づくりという視点からご家庭と連絡をしっかりととっていくことも大切だと考えております。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

